

逆境の中でおさめた成功：メッセ・デュッセルドルフ、 成長に向けた経営基盤を強化

安定成長を遂げた 2025 年、未来に向けた戦略的投資を加速

厳しい経済環境のなか、メッセ・デュッセルドルフは堅実な業績により市場における強固なポジションを改めて証明しました。この基盤の上に立ち、当社はデュッセルドルフ本社への戦略的投資を継続するとともに、見本市の新しいフォーマット開発や、世界におけるプレゼンスの一層の強化を推進していきます。

2026 年 5 月 29 日、デュッセルドルフ | メッセ・デュッセルドルフグループの 2025 年度の売上高は 3 億 7,440 万ユーロ、税引後利益は 4,440 万ユーロとなりました。デュッセルドルフ市長であり、当社の監査役会会長を務めるシュテファン・ケラー市長（Dr. Stephan Keller）は、「厳しい経済環境下において、メッセ・デュッセルドルフは強さとレジリエンスを再び証明しました。世界経済の幅広いセクターを反映する存在だからこそ現在の経済動向の影響をダイレクトに受けませんが、それを踏まえれば今回の業績はより一層目覚ましいものと言えます」と述べました。なお、株主総会において、1,200 万ユーロの配当を実施することが決議されました。

メッセ・デュッセルドルフの社長兼 CEO、ヴォルフラム・ディーナー（Wolfram Diener）は、「2025 年度、私どもは掲げた目標を計画通りに実行しました。戦略的にポートフォリオを進化させ、新たなフォーマットを成功に導くと同時に、最大規模の投資プロジェクトの足がかりを築きました。この『継続的な発展』と『未来への大規模投資』の絶妙なバランスこそが、当社の長期的な成功を確固たるものにするのです」と強調します。

世界のハブとしてのデュッセルドルフを強くする国際的な求心力

昨年、当グループは世界各国で 81 の見本市を開催しました（海外：55 件、デュッセルドルフ：26 件）。デュッセルドルフで開催された見本市には 2 万 3,695 社の出展社と 100 万名を超える来場者が訪れました。

中でも大きなハイライトとなったのは、3 年に一度開催されるプラスチック・ゴム産業の世界最大の見本市「K（プラスチック・ゴム国際見本市）」です。3,000 社以上の出展社と 17 万 5,000 名を超える

業界関係者が来場し、全 18 ホールおよび屋外のイベントスペースすべてがエキスパートで溢れました。

デュッセルドルフで世界規模で開催される主な見本市に関しては、国外からの参加比率が例年通り高水準を維持しており、出展社の 74%、来場者の 34%がドイツ国外からの参加でした。特に「MEDICA（国際医療機器展）」では出展社の 88%、来場者の 74%が国外からという他に例を見ない数字を記録しています。

メッセ・デュッセルドルフの COO、マリウス・ベルレマン（Marius Berlemann）は、これらの数字がデュッセルドルフにとっていかに重要かを次のように評価しています：「私どもは、市や地域の経済力に大きく貢献すると同時に、世界の経済ハブとしてのデュッセルドルフの知名度を高めています。今後もこれを維持するため、お客様のニーズに合わせてデュッセルドルフが誇るグローバルな大型見本市を常に進化させ、時代の先端を行く新たなフォーマットを創出し続けていきます」。

新しい見本市、新しいトピックス

2025 年度、メッセ・デュッセルドルフグループは新たに 10 の見本市をポートフォリオに追加しました（デュッセルドルフで 5 件、各国で 5 件）。開催地はメキシコ（モンテレイの「Tube Mexico」）からトルコ（イスタンブールの「ALUEXPO」）、日本（大阪の「JIOSH+W（はたらく現場の環境展）」）まで多岐にわたります。

特に注目すべきは、デュッセルドルフで初開催となった性質の全く異なる 2 つのイベントです。ひとつは、あらゆる産業や社会に関連する未来の重要分野である自律型システム・ロボティクスを網羅した「XPONENTIAL Europe」。もう一つは、消費者に直接アプローチし、体験型のブランドプレゼンテーションを求める美容業界のニーズに応えるために開発された現代的な消費者向けイベント「The Art of Beauty & Health」です。

2 回目となった「XPONENTIAL Europe」では、自律型・無人システムの主要な応用領域として極めて関連性の高いテーマである防衛が新たにスコープに入りました。この見本市は政治的にも強力な後押しを受けており、パトリック・シュニーダー（Patrick Schnieder）連邦運輸大臣のサポートや、ドイツ連邦軍との戦略的パートナーシップが実現しました。

この見本市の成長は数字にも表れており、出展社数はRheinmetal、Diehl Defence、KNDSをはじめ、89%増の 357 社に拡大しました。次回の開催ではさらにスペースが拡張される予定です。また、カンファレンス・プログラムをさらに充実させたのは、同時開催されたドイツ連邦軍主催（Diehl Defence 協賛）の「German Drone-Defence & Innovation Forum of the Bundeswehr」や、在独英国商工会議所（BCCG）による英独シンポジウム「Defence meets Economy」といったハイレベルなイベントでした。

投資と成長の基盤となる強固な財務体制

メッセポートフォリオの拡充に加え、会場自体のシステムの近代化も進められています。メッセ・デュッセルドルフの CFO 兼 CTO、ベルンハルト・シュテンプフレ (Bernhard Stempfle) は、「ホール 9 の近代化は私どものサービスの魅力を高めるだけにとどまりません。新しく生まれ変わる本社ビルとともに、組織のパフォーマンスを向上させ、雇用主としての魅力をさらに高める現代的な労働環境を構築しています。これらの投資は、長年にわたる持続可能かつ補助金に頼らない健全な事業運営のおかげで、すべて自己資金で賄われています」と説明します。

2025 年度に 2,400 万ユーロだった投資額は、2026 年度には約 8,000 万ユーロに大幅に増加する計画であり、2027 年度には最大 1 億 2,400 万ユーロに達する見込みです。今回の投資の主な柱となるのは、ホール 9 の包括的な近代化改修で、これには総額約 2 億ユーロが計上されています。さらに、新しい管理棟の建設には 1 億ユーロが割り当てられています。

これら 2 つの大型プロジェクトは、いずれも 2028 年の完成を予定しています。さらに、2040 年に向け、北エントランスエリアやホール 7 の改修など、追加の改善計画も進められています。2000 年から 2040 年までの間にメッセ・デュッセルドルフがこの会場へ投じる投資総額は、約 14 億 5,000 万ユーロに上る見通しです。

ヴォルフラム・ディーナーは「2025 年度、私どもは約束を果たし、投資を継続しました。会場、ポートフォリオ、そしてお客様にとって最も重要となる市場のすべてにおいて、この歩みをさらに加速させていきます」と締めくくります。

メッセ・デュッセルドルフグループについて

メッセ・デュッセルドルフは、世界をリードする見本市主催会社のひとつに数えられます。61 万 3,000 m²の広さを誇る展示会場では、毎年 20 の主な国際見本市を含む、約 40 の見本市が開催されています。全 18 のホールには各業界の国際的なマーケットリーダーや主な意思決定者たちが一堂に会し、イノベーションの発表や発掘、意見交換、そしてネットワーキングを行います。メッセ・デュッセルドルフの専門分野には、金属・鋳造技術を含む「機械・プラント・設備」（例：drupa, K, interpack, glasstec, wire, Tube など）、「流通・小売・サービス」（例：EuroShop, EuroCIS, ProWein）、「医療・健康技術」（例：MEDICA, COMPAMED, REHACARE, A+A）、「ライフスタイル・美容」（例：BEAUTY, TOP HAIR, The Art of Beauty & Health）、「レジャー」（例：boot, CARAVAN SALON）、「モビリティ」（例：XPONENTIAL Europe, Flotte!）が含まれます。

また、このほかに子会社のデュッセルドルフ・コンGRESSが多数のコンベンション、企業イベント、カンファレンス、会議などを手掛けています。また海外では 142 か国をカバーする 78 の代表部および 9 つの子会社を設置し、80 以上のイベントを主催しています。

【本件に関するお問い合わせ】

メッセ・デュッセルドルフ

Dr. Andrea Gräzndörffer

コーポレート・コミュニケーション部長

Tel.: +49 (0) 211/4560-555 E-mail: GraenzdoerfferA@messe-duesseldorf.de

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

富田 那渚 (Ms. Nao Tomita)

E-Mail: mdj@messe-dus.co.jp